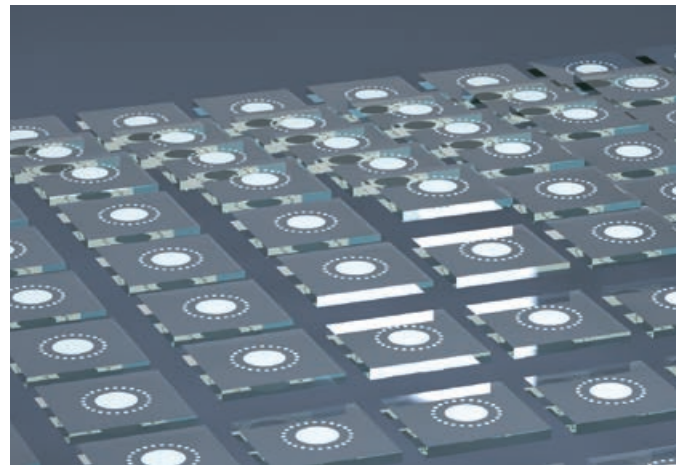


# SCHOTT NEXTERION® PreScora

カスタムフォーマット対応の高性能診断用消耗品を提供する革新的なソリューション



消耗品バイオチップ市場は複雑さを増し、要求の厳しい用途も増えています。そのため、チップサイズをカスタマイズした高品質ガラス基板製品のニーズが高まっています。このニーズに応えるべく、ショットはユニークなソリューション、NEXTERION® PreScoraを開発しました。ショット独自のレーザー処理により、最も要求の厳しい用途向けにも、高度にカスタマイズしたコートおよび切り込み加工済みの基板を製造することが可能です。



## カスタムオプション

### 素材

PreScoraは、ショットの診断に適した品質の、高性能各種ガラスで製造することができます。

診断用として一般的によく使われるのはBOROFLOAT® 33ホウケイ酸ガラスおよびD263シリーズのホウケイ酸ガラスです。

### フォーマット

PreScoraは、SBS規格準拠のマイクロプレートや顕微鏡用スライドガラスなど、ライフサイエンスの標準的なフォーマットに加え、オーダーメイドのフォーマットにも加工可能です。長方形、正方形および円形の形状で、0.17mmから2mmまでの板厚で制作することが可能です。また、特別な公差が要求される場合は、お客様の要求にお応えできるかどうかを事前に確認いたします。

### コーティング

ガラス基板への薄膜コーティング技術も、ショットの主要技術のひとつです。PreScoraのコーティング工程は、ISO規格のクラス5に準拠したクリーンルームで行われるため、極めて高い品質で高性能の消耗品製造が可能です。ショットの標準的なコーティングは以下のとおりです。

- アミノシラン
- アルデヒドシラン
- エポキシシラン
- 3Dヒドロゲルおよび3Dポリマー
- ストレプトアビジン

ショットは、各種コーティング技術を活用して、お客様によるカスタムコーティングの量産プロセスの開発をすることもできます。

- ディップコーティング
- 化学蒸着法(CVD)
- スパッター法
- 溶剤型反応法
- スピンコート法

**SCHOTT**  
glass made of ideas



#### マーキング

NEXTERION® PreScora基板には、ご希望のロゴ、バーコード、基準マーク、グラフィックスなどをマーキングすることができます。マーキングは堅牢で、標準的な生物医学的実験操作中に消えることはありません。ガラスの表面や内部など、任意の場所にマーキングが可能です。

主なマーキング法は、以下のとおりです。

- レーザー誘導粒子転写法
- 疎水性インク
- レーザーアブレーション法
- レーザー誘導内部マーキング

シュットのNEXTERION® PreScora技術によって、カスタムフォーマットのコーティングガラス基板を、最も要求の厳しい診断用消耗品に価値をもたらすスケールとコストで製造することが可能になります。詳細はお問い合わせください。お待ちしております。

